

(14) 眼科（井田病院）（選択科目）

◎ 眼科研修カリキュラム責任者： 高野 洋之 眼科部長

眼科患者を診療するに際して、基本的な診療に必要な知識・技能・態度を身に付けることを目標とする。

A. 研修目標

1. 一般目標

日常眼科診療にて遭遇する主な眼科疾患の病態につき理解し、基本的診察法・基本的検査法・基本的治療法を身に付けることを目標とする。限られた期間と、限られた条件下での有用な研修を目標とする。

2. 経験目標

1) 下記検査を理解して実施する。

- (1) 屈折検査
- (2) 細隙燈顕微鏡検査
- (3) 眼圧検査
- (4) 眼底検査
- (5) 視野検査

2) 下記疾患を理解して、助手として治療法についても研修する。

- (1) 眼瞼、結膜、角膜疾患（オキュラーサーフィスについて）
- (2) 白内障（手術時期、術式の検討及び全身疾患、特に糖尿病との関係について）
- (3) 緑内障（各種緑内障の診断、治療について）
- (4) 眼底疾患（糖尿病、高血圧症及び視神経疾患、特に糖尿病網膜症について）

3) 救急処置を必要とする下記疾患を理解して、その治療につき研修する。

- (1) 急性伝染性疾患
- (2) 薬物化学外傷（酸、アルカリ）
- (3) コンタクトレンズ障害
- (4) 急性緑内障発作
- (5) 急激な視力低下を来す疾患（網膜中心動脈閉塞症など）

B. 研修計画

1 期間は最低4週間とする。

2 午前は、指導医について、一般外来患者につき研修する。

3 午後は、指導医について、入院・外来患者の特殊検査・処置につき研修する。

4 午後の特殊外来（光凝固・コンタクトレンズ・弱視斜視など）と特殊検査（蛍光眼底・視野など）を指導医について研修する。

5 手術時は、指導医と共に手洗いをを行い、助手として手術に参加して研修する。

6 カンファレンスに週1回参加して研修する。

7 硝子体手術研修を関連病院で行う。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	外来研修	外来研修	外来研修 角膜専門外来	外来研修	外来研修
午後	病棟多職種カンファレンス 特殊外来 (レーザー) 外来/検査	特殊外来 (レーザー) 外来/検査	手術	特殊外来 (レーザー) 外来/検査	医師カンファレンス オペ室カンファレンス 特殊外来 (レーザー) 外来/検査

C. 指導体制

高野 洋之 部長 日本眼科学会専門医・指導医
鈴木 なつめ 副医長

D. 評価

- 1) 研修医は、経験目標に従って、自己の研修内容を研修医手帳に記録し、退院サマリーを記載し、指導医に提出しフィードバックを受ける。
- 2) 研修終了時に、当院研修医評価票に基づいて評価を行う。